

野田市水道事業 財政計画 (平成30～32年度)

“いつまでも安心な水を蛇口から”
～豊かな市民生活を支えていきます～

野 田 市 水 道 部

平成29年12月

1 財政計画について

本財政計画は、水道事業の健全な運営を確保し、安定的な経営の持続を堅持することを基本に策定したもので、平成 30 年度から平成 32 年度までを計画期間とした具体的な計画であり、水道事業運営の指針となるものです。

本市の水道事業は、昭和 50 年の給水開始以来、生活と産業を支えるライフラインとしての主要な役割を果たすため、未給水区域解消のための拡張工事の推進や浄・配水場の整備改良を計画的に進めてきました。この結果、平成 28 年度末の普及率は 97.1 パーセントとなっています。

しかしながら、水道を取り巻く環境は、管路及び管路以外の水道施設の老朽化による水道クライシスの高まりに比例して、インフラ更新の投資額が膨らむという構造的な問題と人口減少に伴う水需要の減少とが相まって、経営環境は一段と厳しさが増しています。

こうしたなか、老朽化に伴う施設・設備・管路等の更新需要が増大する一方で、収益が減少傾向にあることを踏まえ、長寿命化を図るための維持管理の促進策と併せて更新事業費の平準化策を取り入れた計画的な更新事業を実施していく必要があります。

そのため、普及率が 97%を超えていることも踏まえ、拡張型経営から維持管理型経営に主軸をシフトし、長寿命化策と更新事業費の平準化策を進めることにより、経営バランスを保持した中で実効性のある更新計画を策定していかなければなりません。

本財政計画では、水道事業の目的である、「清浄にして豊富低廉な水の供給」を将来にわたり維持していくことを念頭に、施設機能を維持するための管理方法を点検調査や診断結果に基づき、その状態に応じた更新等を行う「状態監視保全」と使用可能年数や供用年数に基づき一定周期ごとに更新等を行う「時間計画保全」による管理手法を基本とした取り組みとしています。

また、老朽化した浄水施設の維持管理や経年管の更新、さらには有収率向上に向けた対策や、お客様ニーズに対応した質の高いサービスの提供への取り組みなどを重点事業としています。

なお、本計画の策定に当たっては、「経費削減や事業効果の点検・改善」を行い、「陳腐化したもの、非効率事業等」の排除や事業手法の再検討などにより効率化を図り、現行料金を維持することを前提として、真に実効性のある計画として策定したものです。

2 給水計画について

(1) 水需要計画

給水収益に関連する計画有収水量及び受水費用に関連する計画給水量は、近年の口径別・用途別の実績及び事前協議の状況の動向等を勘案し水需要計画としております。

項 目	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
年 間 有 収 水 量	14,053,907 m ³	14,103,580 m ³	14,122,077 m ³
年 間 給 水 量	14,675,461 m ³	14,716,982 m ³	14,726,147 m ³
有 収 率	95.76 %	95.83 %	95.90 %

(2) 給水件数及び給水人口

給水件数は、給水申込納付金に係る新規申込件数を加味したうえ、近年の口径別・用途別の実績を勘案し計画件数としております。また、給水人口は、同期間における一世帯当たりの人口の動向を勘案し計画給水人口としております。

項 目	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
給 水 申 込 件 数	761 件	741 件	722 件
給 水 件 数	59,376 件	60,057 件	60,719 件
給 水 人 口	150,685 人	150,991 人	151,281 人

3 財政計画

(1) 財政収支計画

○営業収支（税抜）

現行の水道料金を据え置くことを前提とした計画であり、財政計画期間である３ヶ年合計でみる営業収支は、水道料金収入の３ヶ年合計 8,189,500 千円（A）に対し、３ヶ年の料金原価に係る費用は 7,986,621 千円（C-（ア+イ））となり、黒字を確保した計画としております。

（単位：千円）

区 分		平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	3 年間合計
収 入	水道料金 A	2,720,700	2,732,900	2,735,900	8,189,500
	他会計負担金 ア	6,430	6,430	6,430	19,290
	各種手数料 イ	55,706	56,269	56,810	168,785
	計 B	2,782,836	2,795,599	2,799,140	8,377,575
支 出	人件費	208,034	204,868	208,421	621,323
	委託料	319,302	317,357	307,130	943,789
	修繕費	80,184	75,681	73,948	229,813
	動力費	68,026	68,046	68,046	204,118
	薬品費	26,688	26,823	26,823	80,334
	受水費	975,984	978,674	1,026,703	2,981,361
	維持管理費等	55,614	57,475	57,073	170,162
	減価償却費	944,934	955,387	955,644	2,855,965
	資産減耗費	29,831	29,000	29,000	87,831
	計 C	2,708,597	2,713,311	2,752,788	8,174,696
営業収支（B－C）		74,239	82,288	46,352	202,879

○資本的収支（税込）

老朽化に伴う施設・設備・管路等の更新需要が今後さらに増大していくことが確実視されることを踏まえ、使用可能年数や供用年数に基づき一定周期ごとに更新することを基本としております。そのうえで厳しい優先順位による事業選択と更新事業費の平準化策を併せ持った計画で実施することとしております。

なお、老朽化が著しく進む配水管や漏水が懸念される区域については、最優先課題として早い段階で対応する計画としております。

（単位：千円）

区 分		平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	3 年間合計
収 入	工事負担金	750	750	750	2,250
	他会計負担金	9,510	8,680	8,680	26,870
	収 入 合 計	10,260	9,430	9,430	29,120
支 出	配水管布設・布設替工事費	784,944	666,036	274,320	1,725,300
	施設設備更新工事費	253,368	318,816	384,960	957,144
	設計・測量委託料	79,596	75,168	89,532	244,296
	県道舗装復旧工事負担金	0	167,184	73,872	241,056
	事務費（人件費含む）	65,376	65,624	65,350	196,350
	水道メーター費	2,103	2,145	2,096	6,344
	資産取得費	2,593	0	0	2,593
	企業債償還金	356,354	332,638	344,398	1,033,390
	予備費	5,000	5,000	5,000	15,000
	支 出 合 計	1,549,334	1,632,611	1,239,528	4,421,473
収支差引		△1,539,074	△1,623,181	△1,230,098	△4,392,353
補 て ん 財 源	損益勘定留保資金	1,157,941	1,327,483	1,002,900	3,488,324
	減債積立金	297,831	204,465	165,485	667,781
	消費税資本的収支調整額	83,302	91,233	61,713	236,248
	合 計	1,539,074	1,623,181	1,230,098	4,392,353

(2) 事業費別集計表

○収益的収支（税抜）

（単位：千円）

款/項/目		平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	3 年間合計
水道事業収益	A	3,190,040	3,155,789	3,149,477	9,495,306
営業収益	B	2,821,336	2,795,599	2,799,140	8,416,075
給水収益		2,720,700	2,732,900	2,735,900	8,189,500
受託工事収益		38,500	0	0	38,500
他会計負担金		6,430	6,430	6,430	19,290
その他営業収益		55,706	56,269	56,810	168,785
営業外収益		368,704	360,190	350,337	1,079,231
給水申込納付金		193,577	190,736	186,307	570,620
他会計補助金		1,564	1,564	1,564	4,692
長期前受金戻入		173,219	167,546	162,122	502,887
雑収入		344	344	344	1,032
水道事業費用	C	2,851,336	2,817,806	2,834,352	8,503,494
営業費用	D	2,733,097	2,713,311	2,752,788	8,199,196
原水及び浄水費		1,281,065	1,289,654	1,327,738	3,898,457
配水及び給水費		169,133	156,997	161,180	487,310
受託工事費		24,500	0	0	24,500
業務費		146,171	146,990	147,512	440,673
総係費		137,463	135,283	131,714	404,460
減価償却費		944,934	955,387	955,644	2,855,965
資産減耗費		29,831	29,000	29,000	87,831
営業外費用		78,089	64,345	51,414	193,848
支払利息		78,089	64,345	51,414	193,848
特別損失	E	150	150	150	450
過年度損益修正損		150	150	150	450
予備費		40,000	40,000	30,000	110,000
営業収支（B-D）		88,239	82,288	46,352	216,879
経常収支（A-（C-E））		338,854	338,133	315,275	992,262
総収支【純利益】（A-C）		338,704	337,983	315,125	991,812

○資本の収支（税抜）

（単位：千円）

款/項/目	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	3 年間合計
資本の収入	10,260	9,430	9,430	29,120
工事寄付負担金	750	750	750	2,250
工事寄付負担金	750	750	750	2,250
他会計負担金	9,510	8,680	8,680	26,870
他会計負担金	9,510	8,680	8,680	26,870
資本の支出	1,466,032	1,541,378	1,177,815	4,185,225
建設改良費	904,103	1,068,445	693,396	2,665,944
水道施設費	902,000	1,066,300	691,300	2,659,600
水道メーター費	2,103	2,145	2,096	6,344
拡張事業費	198,173	135,295	135,021	468,489
水道施設費	133,100	70,000	70,000	273,100
事務費	65,073	65,295	65,021	195,389
資産取得費	2,402	0	0	2,402
固定資産購入費	2,402	0	0	2,402
企業債償還金	356,354	332,638	344,398	1,033,390
企業債償還金	356,354	332,638	344,398	1,033,390
予備費	5,000	5,000	5,000	15,000
収支差引	△1,455,772	△1,531,948	△1,168,385	△4,156,105

4 収益的収支の主な内容（金額は税抜）

(1) 水道料金及び有収水量

水道料金は、水道利用者から徴収する基本料金及び従量料金

有収水量は、水道利用者が使用した水量（料金徴収される水量）

区 分	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
水 道 料 金	2,720,700 千円	2,732,900 千円	2,735,900 千円
年間有収水量	14,053,907 m ³	14,103,580 m ³	14,122,077 m ³

(2) 給水申込納付金

新規に水道を使用開始するときなど水道メーターの設置に伴い申込者から徴収する納付金

口 径	平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度	
φ 13 mm	250 件	25,000 千円	240 件	24,000 千円	230 件	23,000 千円
φ 20 mm	500 件	144,500 千円	490 件	141,610 千円	480 件	138,720 千円
φ 25 mm	7 件	3,570 千円	6 件	3,060 千円	8 件	4,080 千円
φ 40 mm	3 件	4,677 千円	4 件	6,236 千円	3 件	4,677 千円
φ 50 mm	1 件	2,600 千円	1 件	2,600 千円	1 件	2,600 千円
φ 13⇒20 mm	70 件	13,230 千円	70 件	13,230 千円	70 件	13,230 千円
合 計	831 件	193,577 千円	811 件	190,736 千円	792 件	186,307 千円

(3) 長期前受金戻入

補助金・負担金など（長期前受金）を財源として取得した固定資産について、減価償却が発生するにあたり、その財源となる補助金などについても減価償却見合い分を収益化（非現金収入）したもの

区 分	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
長 期 前 受 金 戻 入	173,219 千円	167,546 千円	162,122 千円

(4) その他の収入

下水道使用料の徴収事務に関する受託手数料及び給水装置工事に関する開栓・設計審査・しゅん工検査手数料など

区 分	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
給水装置工事に関する手数料	7,745 千円	7,590 千円	7,441 千円
下 水 道 受 託 手 数 料	47,961 千円	48,679 千円	49,369 千円
他 会 計 負 担 金	6,430 千円	6,430 千円	6,430 千円
他 会 計 補 助 金	1,564 千円	1,564 千円	1,564 千円

(5) 人件費

損益勘定所属職員（管理者及び一般職）の人件費

区 分	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
一 般 職 人 員	20 人	20 人	20 人
特 別 職 人 員	15 人	15 人	15 人
給 料	99,477 千円	99,809 千円	100,023 千円
手 当 等	108,323 千円	104,747 千円	108,242 千円
報 酬	234 千円	312 千円	156 千円
合 計	208,034 千円	204,868 千円	208,421 千円

(6) 原水及び浄水費

浄水場の取水や浄水処理に要する費用、配水場の受水及び送配水に要する費用、取水場及び配水場のポンプや電気設備等の施設維持管理に要する費用など

区 分		平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
年 間 給 水 量		14, 675, 461 m ³	14, 716, 982 m ³	14, 726, 147 m ³
	北 千 葉 受 水 量	12, 297, 779 m ³	12, 333, 121 m ³	12, 376, 518 m ³
	自 己 水 (表 流 水)	2, 122, 182 m ³	2, 127, 661 m ³	2, 094, 129 m ³
	自 己 水 (地 下 水)	255, 500 m ³	256, 200 m ³	255, 500 m ³
受 水 費		975, 984 千円	978, 674 千円	1, 026, 703 千円
浄水場等運転管理業務委託		66, 420 千円	66, 420 千円	66, 420 千円

○施設別給水量及び費用

上 花 輪 浄 水 場	給水量	3, 756, 920 m ³	3, 767, 550 m ³	3, 769, 890 m ³
	施設維持管理費	82, 262 千円	75, 007 千円	85, 294 千円
東 金 野 井 浄 水 場	給水量	3, 756, 920 m ³	3, 767, 550 m ³	3, 769, 890 m ³
	施設維持管理費	37, 091 千円	42, 742 千円	30, 921 千円
中 根 配 水 場	給水量	5, 195, 110 m ³	5, 209, 810 m ³	5, 213, 060 m ³
	施設維持管理費	23, 774 千円	22, 505 千円	24, 524 千円
木 間 ケ 瀬 浄 水 場 桐 ケ 作 配 水 場	給水量	1, 966, 511 m ³	1, 972, 072 m ³	1, 973, 307 m ³
	施設維持管理費	30, 418 千円	39, 755 千円	29, 243 千円
そ の 他 の 費 用		21, 476 千円	20, 784 千円	20, 743 千円
合 計		195, 021 千円	200, 793 千円	190, 725 千円

(7) 配水及び給水費

配水管や給水管の漏水修繕などを含めた維持管理に要する費用、給水装置工事に関する業務に要する費用など

区 分	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
配水管・給水管の維持管理に要する費用	61,519 千円	61,781 千円	61,697 千円
給 水 事 務 業 務 に 要 す る 費 用	6,611 千円	6,611 千円	6,611 千円
水道メーター交換・修繕に要する費用	46,464 千円	44,538 千円	48,627 千円
そ の 他 の 費 用	13,500 千円	2,916 千円	2,993 千円
合 計	128,094 千円	115,846 千円	119,928 千円

(8) 業務費

水道使用量の検針業務に要する費用、上下水道料金の徴収と収納業務に要する費用など

区 分	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
水道料金等関連業務包括委託	115,247 千円	115,247 千円	115,247 千円
口座・コンビニ・クレジット収納手数料	10,887 千円	11,532 千円	12,126 千円
そ の 他 の 費 用	270 千円	414 千円	273 千円
合 計	126,404 千円	127,193 千円	127,646 千円

(9) 総係費

事業活動の全般に係る費用

区 分	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
庁舎管理に要する費用	6,423 千円	6,931 千円	6,544 千円
通信運搬費・賃借料	7,885 千円	8,191 千円	8,191 千円
負 担 金 ・ 保 険 料	7,734 千円	7,976 千円	7,984 千円
そ の 他 の 費 用	11,833 千円	12,032 千円	5,582 千円
合 計	33,875 千円	35,130 千円	28,301 千円

(10) 減価償却費

固定資産を法定耐用年数に基づき償却する費用

区 分	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
建 物	46,903 千円	46,903 千円	46,344 千円
構 築 物	640,920 千円	651,904 千円	658,730 千円
機 械 及 び 装 置	255,088 千円	255,064 千円	249,283 千円
そ の 他	2,023 千円	1,516 千円	1,287 千円
合 計	944,934 千円	955,387 千円	955,644 円

(11) 資産減耗費

老朽化などにより使用不能となった固定資産の除却に伴う費用

区 分	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
建 物	0 千円	0 千円	0 千円
構 築 物	8,761 千円	10,000 千円	10,000 千円
機 械 及 び 装 置	21,070 千円	19,000 千円	19,000 千円
そ の 他	0 千円	0 千円	0 千円
合 計	29,831 千円	29,000 千円	29,000 千円

5 資本的収支の主な内容

○主要事業

(1) 建設改良費

《工事請負費》

	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
配水管布設替工事	・ 上花輪配水管布設替工事 ・ 野田配水管布設替工事 ・ 清水配水管布設替工事 ・ 中根配水管布設替工事 ・ 上花輪新町配水管布設替工事 ・ 岩名一丁目配水管布設替工事 ・ その他配水管布設替工事 ・ 共同管布設工事	・ 野田配水管布設替工事 ・ 清水配水管布設替工事 ・ 中根配水管布設替工事 ・ 上花輪新町配水管布設替工事 ・ その他配水管布設替工事 ・ 共同管布設工事	・ 野田配水管布設替工事 ・ 五木新町配水管布設替工事 ・ 上花輪新町配水管布設替工事 ・ その他配水管布設替工事 ・ 共同管布設工事

区 分	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
浄・配水施設工事	取水野台	・ No1 取水ポンプ更新工事	
	上花輪浄水場	・ 排水処理設備機器更新工事 ・ 配水流量計更新工事 ・ 配水ポンプ盤内機器更新工事 ・ ろ過水濁度計更新工事 ・ No1 急速ろ過池更新工事	・ 排水処理設備機器更新工事 ・ No2 配水ポンプ更新工事 ・ 管理棟事務室照明更新工事 ・ No2 急速ろ過池更新工事 ・ 硫酸バンド注入設備更新工事 ・ 排泥池ポンプ更新工事 ・ ソーダ灰注入設備更新工事

浄水場	東金野井	- 安全対策用施設更新工事 - No1 ろ過ポンプ盤更新工事 - No1 ろ過機更新工事	- 取水ポンプ現場盤更新工事 - No2 ろ過ポンプ盤更新工事 - No2 ろ過機更新工事	- UPS 更新工事 - No3 ろ過ポンプ盤更新工事 - No3 ろ過機更新工事 - 次亜タンク・液位計更新工事
配水場	中根	- 配水池残塩計更新工事 - 自家発電設備一部更新工事	No3 配水ポンプ更新工事	- 中根・上花輪 I T V 操作卓更新工事 - No4 配水ポンプ更新工事
浄水場	木間ヶ瀬	電気設備一部更新工事	UPS 更新工事	- No1・2 配水池水位計更新工事 - No5 配水ポンプ更新工事 - No5 配水ポンプ盤更新工事 - 次亜注入設備更新工事
配水場	桐ヶ作		- 次亜注入設備更新工事 - UPS 更新工事	No1 配水ポンプ更新工事

《委託料》

	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
配水管 工事 設計 設計 替	- 野田配水管布設替工事設計 - 清水配水管布設替工事設計 - 中根配水管布設替工事設計 - 上花輪新町配水管布設替工事設計 - その他配水管布設替工事設計	- 野田配水管布設替工事設計 - 五木新町配水管布設替工事設計 - 上花輪新町配水管布設替工事設計 - その他配水管布設替工事設計	- 岩名二丁目配水管布設替工事設計 - 春日町配水管布設替工事設計 - 尾崎配水管布設替工事設計 - 上花輪新町配水管布設替工事設計 - その他配水管布設替工事設計

区 分		平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
浄・配水施設工事設計	浄水場 上花輪	・ 流量計等設計委託	・ 配水ポンプ設備設計委託	・ 配水ポンプ設備設計委託 ・ 監視制御装置設計委託
	浄水場 東金野井	・ 取水ポンプ盤設計委託 ・ No2 ろ過ポンプ盤設計委託	・ No3 ろ過ポンプ盤設計委託	・ 配水ポンプ設備設計委託 ・ 逆洗ポンプ設備設計委託 ・ 次亜注入設備設計委託
	中根配水場	・ 配水ポンプ設備設計委託	・ ITV 設備設計委託	・ ITV 設備設計委託 ・ 計装設備設計委託 ・ 電気設備設計委託
	浄水場 木間ヶ瀬		・ 次亜注入設備設計委託 ・ 配水ポンプ設備設計委託	・ No6 配水ポンプ設備設計委託
	配水場 桐ヶ作	・ 次亜注入設備設計委託	・ 配水ポンプ設備設計委託	・ No2 配水ポンプ設備設計委託 ・ 電気設備設計委託
	全施設	・ 設備台帳作成委託	・ 設備台帳作成委託	

(2) 拡張事業費

《工事請負費》

	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
布配 設水管 工事	水道管未整備地区の 配水管布設工事	水道管未整備地区の 配水管布設工事	水道管未整備地区の 配水管布設工事

《委託料》

	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
布配 設水管 工事 設計	配水管布設工事設計	配水管布設工事設計	配水管布設工事設計

○事務費

資本勘定所属職員（一般職）の人件費など

区 分	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
一 般 職 人 員 (うち再任用職員)	8 人 (1)	8 人 (1)	8 人 (1)
給 料	32,256 千円	32,416 千円	32,581 千円
手 当 等	29,653 千円	29,727 千円	29,288 千円
そ の 他 事 務 費	3,164 千円	3,152 千円	3,152 千円
合 計	65,073 千円	65,295 千円	65,021 千円

平成30年度 野田市水道事業会計予算原案説明資料

平成30年 2月 9日

平成30年度 野田市水道事業会計予算原案の概要

1 予算編成方針

独立採算制の立場に立ち、前例に捉われることなく確実に持続的供給ができるよう、企業経営の効率化の推進と収益性の向上に積極的に取り組み、「野田市水道事業財政計画」をベースに業務の状況等を十分に把握したうえで、経営環境の変化を最大限加味した予算原案とした。

○改良事業

【配水管布設替工事】

老朽化に伴う赤水及び漏水対策といたしまして、キッコーマン関連の上花輪・野田地区を2,610m、漏水多発地区の岩名地区を1,455m実施し、老朽管の更新を進めます。

【施設更新工事】

中野台取水場及び上花輪・東金野井・木間ヶ瀬の浄水場、中根の配水場において、経年劣化によるポンプ・電気・ろ過設備等の更新工事を実施し、各施設の長寿命化を図ります。

○拡張事業

【配水管布設工事】

未整備地区の解消及び給水希望者への待機期間の短縮を重要課題と位置づけ、平成29年11月末までに要望のあった給水希望者すべてを対象とした工事1,905mを実施します。

なお、今後も給水希望者に対しては、希望があった当該年度もしくは、次年度には工事を実施し、待機期間の短縮に努めます。

2 業務の予定量

	平成 3 0 年度当初予算案 A	平成 2 9 年度当初予算 B	増 減 A - B
① 給水件数	59, 376 件	58, 358 件	1, 018 件増
② 年間総給水量	14, 675, 461 m ³	14, 795, 000 m ³	119, 539 m ³ 減
③ 年間総有収水量	14, 053, 907 m ³	14, 129, 225 m ³	75, 318 m ³ 減
④ 一日平均給水量	40, 207 m ³	40, 534 m ³	327 m ³ 減
⑤ 有収率	95. 8%	95. 5%	0. 3 ポイント増

3 予算原案概要

(単位：千円)

区 分		平成 30 年度 当初予算案 A	平成 29 年度 当初予算 B	比 較		主 な 増 減 理 由	平成 30 年度当初予算案内訳の概要
				A－B	A/B		
収 益 的	収 入	3,427,042	3,460,889	△33,847	99.02%	・給水収益 24,192 千円減 ・受託工事収益 35,200 千円増 ・下水道受託手数料 548 千円増 ・給水申込納付金 42,092 千円減 ・長期前受金戻入 4,844 千円減 ・その他営業収益 1,533 千円増	・給水収益 2,938,356 千円 ・受託工事収益 38,500 千円 ・下水道受託手数料 51,797 千円 ・給水申込納付金 209,062 千円 ・長期前受金戻入 173,219 千円 ・その他営業収益 16,108 千円
	支 出	2,994,229	2,985,095	9,134	100.31%	・人件費 4,522 千円減 ・委託料 12,356 千円増 ・修繕費 19,431 千円減 ・受水費 7,800 千円減 ・受託工事費 23,220 千円増 ・減価償却費 12,623 千円増 ・その他営業費用 12,991 千円増 ・企業債利息 13,631 千円減 ・消費税 3,328 千円増 ・予備費 10,000 千円減	・人件費 196,889 千円 ・委託料 344,806 千円 ・修繕費 85,640 千円 ・受水費 1,054,062 千円 ・受託工事費 26,460 千円 ・減価償却費 944,934 千円 ・その他営業費用 193,064 千円 ・企業債利息 78,089 千円 ・消費税 30,285 千円 ・予備費 40,000 千円
	収支差引（税込）	432,813	475,794	△42,981	90.97%		
	損益（税抜）	174,994	204,465	△29,471	85.59%		
資 本 的	収 入	10,260	27,090	△16,830	37.87%	・他会計負担金 16,830 千円減 ・工事寄附負担金 増減なし	・他会計負担金 9,510 千円 ・工事寄附負担金 750 千円
	支 出	1,549,334	1,654,707	△105,373	93.63%	・施設工事 6,372 千円増 ・配水管工事 147,129 千円減 ・委託料 19,115 千円増 ・水道メーター費 461 千円減 ・資産取得費 2,074 千円増 ・企業債償還金 13,629 千円増 ・事務費 1,027 千円増 ・予備費 増減なし	・施設工事 253,368 千円 ・配水管工事 784,944 千円 ・委託料 79,596 千円 ・水道メーター費 2,103 千円 ・資産取得費 2,593 千円 ・企業債償還金 356,354 千円 ・事務費 65,376 千円 ・予備費 5,000 千円
	収支差引（税込）	△1,539,074	△1,627,617	88,543	94.56%		

4 改良事業工事 当初予算案 905,364 千円（前年度 1,064,880 千円 前年度対比 14.98%減）

(1) 配水管布設替工事 L=4,415m（前年度 L=5,835m 前年度対比 24.34%減）

- ・ 赤水対策による老朽管布設替工事 L= 2,610m 上花輪・野田地区
- ・ 漏水対策による配水管布設替工事 L= 1,455m 岩名地区
- ・ 私道布設要望に伴う共同管布設工事 L= 100m 市内全域
- ・ その他配水管布設替工事 L= 250m 市内全域

(2) 施設改良工事

- ・ 中野台取水場 No.1 取水ポンプ更新工事
- ・ 上花輪浄水場 排水処理設備機器更新工事
ろ過水濁度計更新工事
No.1 急速ろ過池更新工事
配水流量計更新工事
配水ポンプ盤等更新工事
- ・ 東金野井浄水場 ろ過設備盤更新工事
ろ過機更新工事
安全対策用施設更新工事
- ・ 中根配水場 配水池残留塩素計更新工事
自家発電設備機器更新工事
- ・ 木間ヶ瀬浄水場 電気設備機器更新工事

5 拡張事業工事 当初予算案 132,948 千円（前年度 114,189 千円 前年度対比 16.43%増）

(1) 配水管布設工事 L=2,105m（前年度 L=1,680m 前年度対比 25.30%増）

- ・ 給水希望者を対象とした配水管布設工事 L= 1,905m 市内8ヶ所
- ・ その他配水管布設工事 L= 200m 市内全域

平成30年度野田市水道事業会計予算原案補足資料

- 1 給水計画
- 2 予算見積書

1. 給水計画

	年 度		平成30年度案	平成29年度	比 較
	区 分	単 位			
給 水 人 口 及 び 件 数	給 水 人 口	人	150,685	150,500	185
	給 水 件 数	件	59,376	58,358	1,018
	(給水申込件数)	件	761	867	-106
給 水 量	一 日 平 均 給 水 量	m ³	40,207	40,534	-327
	一 人 一 日 平 均 給 水 量	リットル	267	269	-2
	一 日 最 大 給 水 量	m ³	43,874	43,790	84
	一 人 一 日 最 大 給 水 量	リットル	291	291	0
	年 間 給 水 量	m ³	14,675,461	14,795,000	-119,539
有 収 水 量	年 間 有 収 水 量	m ³	14,053,907	14,129,225	-75,318
	有 収 率	%	95.8	95.5	0.3
水 源 別 量	北 千 葉 受 水	m ³	12,297,779	12,349,500	-51,721
	表 流 水	m ³	2,122,182	2,190,000	-67,818
	地 下 水	m ³	255,500	255,500	0
	計	m ³	14,675,461	14,795,000	-119,539
水 源 別 量	北 千 葉 受 水	m ³ /日	41,000	41,000	0
	表 流 水	m ³ /日	10,900	10,900	0
	地 下 水	m ³ /日	1,800	1,800	0
	計	m ³ /日	53,700	53,700	0
水 利 用 源 率	北 千 葉 受 水	%	82.2	82.5	-0.3
	表 流 水	%	53.3	55.0	-1.7
	地 下 水	%	38.9	38.9	0.0

※普及率は平成28年度決算値で97.1%です。

2. 予算見積書

収益的收入及び支出

収 入

款	項	目	平成30年度 予定額 (千円)	平成29年度 予算額 (千円)	比較 (千円)	比較 (%)	備 考
1 水道事業収益			3,427,042	3,460,889	△ 33,847	99.02	
	1 営業収益		3,042,828	3,029,924	12,904	100.43	
		1 給水収益	2,938,356	2,962,548	△ 24,192	99.18	・水道料金
		2 受託工事収益	38,500	3,300	35,200	1,166.67	・配水管移設工事収益
		3 他会計負担金	6,430	4,080	2,350	157.60	・消火栓維持管理負担金
		4 その他営業収益	59,542	59,996	△ 454	99.24	・各種手数料
	2 営業外収益		384,214	430,965	△ 46,751	89.15	
		1 受取利息及び配当金	0	1	△ 1	—	
		2 給水申込納付金	209,062	251,154	△ 42,092	83.24	・給水申込納付金
		3 他会計補助金	1,564	1,432	132	109.22	・一般会計補助金
		4 長期前受金戻入	173,219	178,063	△ 4,844	97.28	・長期前受金戻入
		5 雑収益	369	315	54	117.14	・北千葉広域水道企業団負担電気料等

支 出

款	項	目	平成30年度 予定額 (千円)	平成29年度 予算額 (千円)	比較 (千円)	比較 (%)	備 考
1 水道事業費用			2,994,229	2,985,095	9,134	100.31	
	1 営業費用		2,845,705	2,816,268	29,437	101.05	
		1 原水及び浄水費	1,380,024	1,417,989	△ 37,965	97.32	・ 原水の取水及び浄水に要する費用
		2 配水及び給水費	178,186	157,008	21,178	113.49	・ 配水及び給水に要する費用
		3 受託工事費	26,460	3,240	23,220	816.67	・ 受託工事に要する費用
		4 業務費	156,511	157,756	△ 1,245	99.21	・ 業務の運営に要する費用
		5 総係費	129,759	131,582	△ 1,823	98.61	・ 事業活動の全般に関する費用
		6 減価償却費	944,934	932,311	12,623	101.35	・ 固定資産の減価償却費
		7 資産減耗費	29,831	16,382	13,449	182.10	・ 固定資産の除却費
	2 営業外費用		108,374	118,677	△ 10,303	91.32	
		1 支払利息及び企業債 取扱諸費	78,089	91,720	△ 13,631	85.14	・ 企業債の利息
		2 消費税	30,285	26,957	3,328	112.35	・ 消費税納付額
	3 特別損失		150	150	0	100.00	
		1 過年度損益修正損	150	150	0	100.00	・ 過年度調定更正
	4 予備費		40,000	50,000	△ 10,000	80.00	
		1 予備費	40,000	50,000	△ 10,000	80.00	

資本的収入及び支出

収 入

款	項	目	平成30年度 予定額（千円）	平成29年度 予算額（千円）	比較 （千円）	比較（％）	備 考
1 資本的収入			10,260	27,090	△ 16,830	37.87	
	1 工事寄附負担金		750	750	0	100.00	
		1 工事寄附負担金	750	750	0	100.00	・ 共同管工事負担金
	2 他会計負担金		9,510	26,340	△ 16,830	36.10	
		1 他会計負担金	9,510	26,340	△ 16,830	36.10	・ 消火栓設置負担金

支 出

款	項	目	平成30年度 予定額（千円）	平成29年度 予算額（千円）	比較 （千円）	比較（％）	備 考
1 資本的支出			1,549,334	1,654,707	△ 105,373	93.63	
	1 建設改良費		976,263	1,121,574	△ 145,311	87.04	
		1 水道施設費	974,160	1,119,010	△ 144,850	87.06	・ 配水管布設替工事等に要する費用
		2 水道メーター費	2,103	2,564	△ 461	82.02	・ 水道メーターに要する費用
	2 拡張事業費		209,124	184,889	24,235	113.11	
		1 水道施設費	143,748	120,540	23,208	119.25	・ 配水管布設工事等に要する費用
		2 事務費	65,376	64,349	1,027	101.60	・ 人件費等
	3 資産取得費		2,593	519	2,074	499.61	
		1 固定資産購入費	2,593	519	2,074	499.61	・ 浄水施設用備品等購入に要する費用
	4 企業債償還金		356,354	342,725	13,629	103.98	
		1 企業債償還金	356,354	342,725	13,629	103.98	・ 企業債元金償還金
	5 予備費		5,000	5,000	0	100.00	
		1 予備費	5,000	5,000	0	100.00	